

## 要旨：東ジャワ、グレシクにおける海水マネジメントにおける男女平等 Rumuniati Subari（インドネシア）

インドネシアは約70%が海で、陸地は30%ほどです。陸上で暮らす人々は海から恩恵を受けており、彼らにとって海は第一の収入源になっています。東ジャワのグレシクでは、海水が海水魚の生簀として利用されているほか、塩田としても利用されています。かつて塩田で働く人びとは **sebor** と呼ばれる伝統的な道具を使っていましたが、この道具を操作するには強い力が必要で、また女性の労働者に手伝ってもらう必要がありました。しかし最近では、そのような道具はあまり使用されなくなり、より近代的な風車を使用するようになってきました。風車は男性でも女性でも操作することができるうえに、従来よりも速く海水を塩田に流し込むことができます。その結果、今では塩の生産業は性別に関係なく行われるようになり、塩田労働は、男女平等と、家庭内から社会への女性の役割の転換が進み、多くの仕事が男性も女性も一緒に行えるようになってきています。

### 東ジャワ、グレシクにおける海水マネジメントにおける男女平等

人間の生活にとって水は極めて重要な役割を担っています。国連が発表しているデータによると、地球の水の構成は地下水 2.75%、海水 97.25%です(Kompas、2004年)。つまり海水が地球の表面を広く覆っているのです。

インドネシアでは地理的に海水が国土全体の70%を占めています(Azis、2000年)。したがって、インドネシアの海岸線沿いで暮らしている人びとにとって、海水は生活の糧を得る最大の収入源であり、漁師として魚を獲ったり、海藻を育てたり、貝類を獲ったりしています。また海水魚の生簀や塩の生産にも利用されています。グレシクやマドゥラといった地域の海水は、男女がともに労働者として働いている塩の製造業の主原料になっています。

### 塩の製造工程における男女平等

海水は塩製造の主原料であり、その製造工程は天日による自然の熱に大きく依存しており、塩の製造が通常乾季に行われる理由もそこにあります。

最初に、沿岸近くにある塩田の所有者は、海水を蒸発させるための区画準備をします。それから **sebor** と呼ばれる伝統的な道具を使って海水をこの区画に流し込みます。従来この道具は男性の労働者が操作し、女性労働者がその手伝をしていました。風車は女性の労働者だけで操作することができます。最初の区画で蒸発された水は次の区画に移されます。興味深いことに、この作業に風車を使う場合には、操作は女性でも男性でもすることができます。次の区画に移された水はそこで塩分濃度の測定が行われ、水分が蒸発していれば

いるほど塩分濃度は高くなります。この仕事は男女どちらの労働者も行います。

1 ヶ月半後、塩が収穫され、プラスチック製の袋に入れられ、納屋に移されて出荷を待ちます。この仕事には女性と男性の両方が携わりますが、男性労働者のほうが女性労働者よりやや多いようです。その後、収穫の分配を行います。塩田の所有者が 3 分の 2 をとり、残り 3 分の 1 を労働者がとります。この分配率は長い間この地域で伝統的に行われているもので、公平な取引であると考えられています。

### 家庭内での役割から社会的な役割への転換

これまで塩の製造業には主に男性の労働者が従事していました。従来の道具よりも近代的な風車が利用される前は、塩の製造業は肉体的な力を必要とする道具を用いていたため、男性の労働力を必要としていました。伝統的な *sebor* に代わって風車が登場すると、女性労働者でも簡単に海水を区画に流し込めるようになりました。これはつまり、女性労働者の役割が地元のコミュニティによって広く認知されたことを意味し、実際、女性の役割は約 20% から 40% に上昇しました(Mochid、2004 年)。

こうした理由から、海水を使った塩の製造業に、それまで家庭内の仕事に従事していた女性を労働者として雇用することができるようになり、いまや女性たちは社会での仕事に積極的に参加しています。Umar (2004 年) は、男女平等の実現までは長い時間がかかるだろうが、いずれ実現すると述べましたが、現在のこの事実は方向を同じくするものです。ですから、研究者や学者、NGO、女性運動の取り組みを最大限に引き出す必要があります。

女性の労働者も男性の労働者も共に海水から塩を生産することで利益を得ているという事実を知れば、もはや女性は周辺部に追いやられている存在ではないのだということが分かります(Fakih、1997 年)。家庭内での役割から社会的な役割への転換は大きな前進を意味しており、地域社会で広く受け入れられ始めています。Saptari(1997 年)によれば、リベラルな女性運動家たちは常に、女性が平等な権利を与えられ、その権利が社会的に認知されることを目指して活動しています。この考えは、たとえば Mary Wollstoncraft の「女性の権利の擁護」といった文献にも示されています。

海水の利用も先端技術を用いることで、女性は自分たちが男性と同じ能力を持っていることを示すことができ、女性の役割を家庭内から社会的なものへと転換させることで男女平等をもたらすことができるのだといえます。